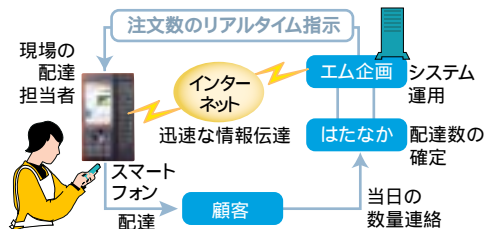


配送情報の同時共有で弁当の廃棄ロスも削減

給食・仕出し弁当などを製造販売するはたなかは、「家庭の味」「おふくろの味」が一般企業から幼稚園や学校、老人ホームまで幅広く支持されており、毎日1万食近くの弁当を出荷している。

同社では前日に製造個数と配送数の見込みを立て、予測をベースに弁当を車に積んで配送に出かけるが、実際の注文は当日電話によるものがほとんど。配送途中での注文数や追加製造、弁当販売時の

弁当配送モバイルシステムのイメージ



精算といった確認作業は無線を介してメモ書きで行っていたという。

この課題解決のために、エム企画の協力を得て構築したのがウィルコムスマートフォン「advanced/W-ZERO3[es]」を活用した「弁当配送モバイルシステム」だ。

前日に配送予測数や配送順を40台の配送員の端末へ送信。配送員は弁当の持ち出し数を入力して出発。配送中に届いた確定注文数は3分以内に端末へ送信されるので、「配送者間での在庫移動や工場への追加製造、追加配送などをリアルタイムで行えるようになりました」と、畑中章宏取締役はいう。

さらにウィルコム提供の「Quick Menu for Biz」も利用し、ITに不慣れな配達員にも使いやすい操作性を実現した。効率的な製造数コントロー

>>> DATA

業種	製造販売業
活用分野	業務効率化、売上向上
テクノロジー	スマートフォン、業務アプリ、ASP

ルによって弁当の廃棄ロスを削減。無線連絡での誤記入も防止できた。入力された販売数は本部へ自動送信されるので精算業務も効率化された。



はたなか 取締役
畑中章宏氏



エム企画 システム開発部
高崎博人氏



利用風景